

# おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

—どうなんだろ?—

NO. 1



児童発達支援センターあんずのスタートと一緒に、新しいような続きのようなコラムを始めることになりました。『おやつのかん3』では、小さい子どもの育ちから少し大きくなったお兄さんやお姉さんの育ちのつながりを、わかりやすくお伝えしていきたいと思います。「なるほどね～、今日もなかなかいい生活だったんだ」と思えると、明日が楽しみにもなりますよね。毎月ちょっとの時間、お付き合いください。

あんずは、まさに始まったばかりです。初めての場所、初めての人、初めての流れになるので、子どもも大人も、最初のうちは、どうやって落ち着こうかと、身体も心も右往左往するに違いありません。4月に他の場所で、この“初めて”を経験したばかりの子には、「何だ、またあ!!」と思わせてしまいますね。ごめんね。居心地の良い雰囲気をまずは大切にしていきたいと思います。

「どうなんだろう?」「どんなことするの?」「どんな人がいるの?」と、どの子も、しばし立ち止まって周りを見渡しています。立ち止まらずにウロウロ動き回っている子も、ひとつの場所から動かないでいる子も心は同じですね。見渡しているのなら、よ～く見せてあげなきゃです!“こういう場所があるんだよ”“こういうものがあるんだよ”“こんな人たちが一緒にいるんだよ”って。ホッとするまでに、少し時間のかかる子もいるかもしれませんが、このオリエンテーションの時間は大切にしたいと思います。何があるのかわからない部屋に連れていかれるのは、誰だって心配です。「これをするよ」「こんなことするよ」「次はこれなんだよ」と、その場所に連れていったり、まつわる物を見せたり、声かけだけで省略せずに丁寧に伝えていくことで、添えられる言葉がより生きてきます。丁寧な関わりは、お互いしっかりと向かい合う場面を増やすことになります。自然と、ゆっくりとしたやりとりが生まれると思います。次の日の笑顔につながればいいですね。

子どもが安心するためのひとつのポイントは、まずは『見せること』です。近くからでも遠くからでも、背中を向けていたとしても。まだ言葉で気持ちを伝えられない子には、それがやりとりの入り口になります。よくおしゃべりする子でも、声かけで済ましてしまうのではなく、「まあ見てごらんよ」という誘いが、気持ちの通いあいにもつながります。「あんずって、へえ～」「なるほど、あんずって」って、いっぱい感じてほしいと思います。

クルマも、走り出しはゆっくりですが、エンジンは回転数を上げなければなりません。子ども達も同じです。初めての場面では、見た目よりもアクセルを踏んでいると思います。実力が出せていないかのように見えるのはそのためです。なので、慌てないでゆっくり景色を眺めながら動き出すので大丈夫です。ん?ピンときませんか?クルマを運転される方、今度あらためてタコメーターを見てみてください。順調にスピードが安定してくると、回転数は落ちて落ち着いてきます。カーステレオが心地よく聴こえてくると、何となく肩の力が抜けてきますよね。子ども達と私たちの最初のミッションは、その感覚を共に感じることです。

私たちも全力で走ります。人と人との出会いですからね。今日を大切に。

(H28. 6) K

